

札幌市文化財保存活用地域計画に掲載している事業等

※ I列～M列：H30年の照会における各局（区）からの回答

基本方針	施策の方向性	事業・施策名称	事業・施策内容	令和2年度の取組実績	今後の予定等	主管課	(1) 関連計画・構想等	(2) 関連施策・事業	事業概要	事業等の背景・目的・課題など	ホームページURL	
Action1 みつめる 調査・把握 の課題に対する取組み	文化財の掘り起こしを目的とした市民ワークショップ	市民等が文化財を掘起こし、観光・地域づくりなどの活用方法について意見交換を行うワークショップ	市民等が文化財を掘起こし、観光・地域づくりなどの活用方法について意見交換を行うワークショップ	現地調査を含め3回ワークショップを開催した。様々な年代や立場の参加者21名が、札幌市の歴史文化の魅力の掘り起こしや観光への活用など広く意見交換を行い、大友隆・開拓使・札幌軟石の3テーマの「関連文化財財とストーリーの設定」に向けて多くのアイデアを出し合った。	令和3年度は札幌オリンピックと縄文文化の2テーマに関する「関連文化財財とストーリーの設定」に向けてワークショップを開催する。なお、新型コロナウイルス感染症を考慮し、ワークショップは一部オンラインによる開催を予定している。	市)文化財課			照会元所管事業			
		文化財調査の情報更新・追跡調査	既往の文化財調査の情報更新や追跡調査により文化財の状況を適切に把握	既往の調査の結果を踏まえた今後の調査の方向性について検討を行った。	既往の文献等調査で把握した文化財についての現地調査等の実施について検討する。	市)文化財課			照会元所管事業			
		文化財保護指導員等による現地調査	市内文化財の適宜巡視と、現状と課題の把握等	一部を除く指定・登録文化財及びふるさと文化百選選定物件についての現地調査を実施した。看板の破損等が確認された物件について修繕の対応を行った。	情報の追加・更新を随時行う予定。	市)文化財課			照会元所管事業			
		文化財情報のデータベース化	市場にある文化財情報を一元集約するデータベース化と公開方法の検討	札幌市内の指定・登録文化財、ふるさと文化百選、郷土資料館資料についてデータベースを構築し、インターネットで公開した。	情報の追加・更新を随時行う予定。	市)文化財課			照会元所管事業			
Action2 共有する 共有・発信 の課題に対する取組み	シンポジウム「さっぽろれきふんフェス」の開催	文化財や歴史文化の価値と魅力を普及・啓発するシンポジウム	文化財や歴史文化の価値と魅力を普及・啓発するシンポジウム	令和3年2月23日、札幌駅前地下広場にて、札幌の歴史文化に触れられるようなステージ企画、市民参加型企画、パネル展示を行った。	令和3年度も同時期に「さっぽろれきふんフェス」の開催を予定。観光やまちづくりに活用していく観点での企画を検討している。	市)文化財課			照会元所管事業			
		埋蔵文化財センターの管理・運営	埋蔵文化財保護に関する相談対応や遺跡の発掘調査、展示室における埋蔵文化財の常設展示	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、埋蔵文化財展示室を活用した校外学習等の団体利用はすべて休止し、不特定多数が触れる体験学習用具等も撤去した。展示では、市内の発掘成果の重新情報を発信する企画展「埋蔵～縄文文化の植物利用を紹介する企画展」を実施した。	令和3年度についても、埋蔵文化財展示室の団体利用及び体験学習用具の設置については、密を避けることが困難なため、引き続き利用休止の方針。また、今年度は、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産登録の見通しとなったことから、これに関連する企画展を開催する予定。	市)文化財課			照会元所管事業			
		埋蔵文化財センターの管理・運営	埋蔵文化財保護に関する相談対応や遺跡の発掘調査、展示室における埋蔵文化財の常設展示	埋蔵文化財保護に関する相談対応や遺跡の発掘調査、展示室における埋蔵文化財の常設展示	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、埋蔵文化財展示室を活用した校外学習等の団体利用はすべて休止し、不特定多数が触れる体験学習用具等も撤去した。展示では、市内の発掘成果の重新情報を発信する企画展「埋蔵～縄文文化の植物利用を紹介する企画展」を実施した。	令和3年度についても、埋蔵文化財展示室の団体利用及び体験学習用具の設置については、密を避けることが困難なため、引き続き利用休止の方針。また、今年度は、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産登録の見通しとなったことから、これに関連する企画展を開催する予定。	市)文化財課			照会元所管事業		
		埋蔵文化財センターの管理・運営	埋蔵文化財保護に関する相談対応や遺跡の発掘調査、展示室における埋蔵文化財の常設展示	埋蔵文化財保護に関する相談対応や遺跡の発掘調査、展示室における埋蔵文化財の常設展示	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、埋蔵文化財展示室を活用した校外学習等の団体利用はすべて休止し、不特定多数が触れる体験学習用具等も撤去した。展示では、市内の発掘成果の重新情報を発信する企画展「埋蔵～縄文文化の植物利用を紹介する企画展」を実施した。	令和3年度についても、埋蔵文化財展示室の団体利用及び体験学習用具の設置については、密を避けることが困難なため、引き続き利用休止の方針。また、今年度は、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産登録の見通しとなったことから、これに関連する企画展を開催する予定。	市)文化財課			照会元所管事業		
Action2 共有する 共有・発信 の課題に対する取組み	地域資源の魅力発信	地域の歴史文化情報のHPによる発信、区役所庁舎でのパネル展示、歴史記録映像制作、ワークショップ等イベントの開催等	地域の歴史文化情報のHPによる発信、区役所庁舎でのパネル展示、歴史記録映像制作、ワークショップ等イベントの開催等	【厚別区】 例年実施している「厚別歴史写真パネル展」「厚別歴史散歩」は新型コロナウイルスの影響で中止となった。パネル展等に代わる企画として、新札幌駅周辺の地図と開拓地の歴史に関する解説を添えた「あつぱつ歴史散歩マップ」を発行し、厚別区役所等で配布した。 【南區】 南區の小学生を対象に、夏休みと冬休み期間、区の地域資源である「札幌軟石」を使ったアロマストーンワークショップ等のイベントを実施する。 【清田区】 清田区のシンボル関保について、緊急事態宣言により、平岡梅林公園が閉鎖されたことに伴い、平岡梅林マップ配布は中止した。 旧国道36号歴史記録映像については、DVDの貸出、YouTubeでの配信は継続して実施。	【厚別区】 未定 【南區】 令和3年度についても、左記同様の取組を行う。配布数は200個程度の予定。夏休みは、対象者を南區に限定しているが、冬休みについては、区外に広がるか検討中。令和4年度以降は、新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、区の地域資源である「札幌軟石」を使ったワークショップ等のイベントを実施する。 【清田区】 清田区のシンボル関保について、清田区役所ロービーにて、平岡梅林公園パネル展を実施し、平岡梅林マップの配布を行う。 旧国道36号歴史記録映像については、DVDの貸出、YouTubeでの配信は継続して実施する。	各区域地域振興課	厚別区	未定 あつぱつ区民協議会が主催する「厚別歴史写真パネル展」等の開催を支援する。区民協会支援事業	あつぱつ区民協議会では、地域への関心や愛着を育むことを主な目的として、「厚別区歴史文化の会」の協力のもと、「厚別歴史写真パネル展」(H22～)や「厚別歴史散歩」(H29～)を開催しており、厚別区は事務局としてその運営を支援している。当パネル展では、厚別への入籍が始まってから現在に至るまでの、ゆかりのある人物や街並み、生活習慣等を、写真と解説文で紹介。大型ビジョンを用いた解説等もしている。	<a href="https://www.city.sapporo.jp/ai/subetai/machi/soshiki/soshiki/awant.html">https://www.city.sapporo.jp/ai/subetai/machi/soshiki/soshiki/awant.html</a>	あつぱつ区民協議会では、地域への関心や愛着を育むことを主な目的として、「厚別区歴史文化の会」の協力のもと、「厚別歴史写真パネル展」(H22～)や「厚別歴史散歩」(H29～)を開催しており、厚別区は事務局としてその運営を支援している。当パネル展では、厚別への入籍が始まってから現在に至るまでの、ゆかりのある人物や街並み、生活習慣等を、写真と解説文で紹介。大型ビジョンを用いた解説等もしている。	<a href="http://www.city.sapporo.jp/kyu/ta/0100/syouban/0100kyu.html">http://www.city.sapporo.jp/kyu/ta/0100/syouban/0100kyu.html</a>
		清田区の取組	清田区	清田区	清田区	清田区	清田区	清田区	清田区	清田区	清田区	清田区
		南區の取組	南區	南區	南區	南區	南區	南區	南區	南區	南區	南區
		手稲区の取組	手稲区	手稲区	手稲区	手稲区	手稲区	手稲区	手稲区	手稲区	手稲区	手稲区
Action3 伝える	文化財施設の効率な維持・保全	市の所有する文化財等11施設の中・長期計画に従った保全工事耐震化	市の所有する文化財等11施設の中・長期計画に従った保全工事耐震化	計画的な保全を行うために、保全計画に基づき6施設の修繕を実施した。また、文化財施設を将来に継承していくために、消費率の耐震診断を実施した。豊平区庁舎の保全計画を策定した。	文化財施設について計画的修繕を実施する。文化財施設を将来に継承していくために、順次地震対策を進めている。	市)文化財課			照会元所管事業			
		郷土資料館の維持・管理	地域の保護団体が運営する郷土資料館の維持・管理を支援	地域の保護団体が運営する郷土資料館の維持・管理を支援	各郷土資料館について3施設の計画的修繕(消火設備更新、照明器具更新、樹木剪定、配管修繕)を行った。	各郷土資料館について計画的修繕を実施する。	市)文化財課		照会元所管事業			
		無形文化財等の保存・伝承支援	アイヌ民族の伝統行事のアシチェノミ、市指定無形文化財の丘珠獅子舞保存伝承事業に対する支援	アイヌ民族の伝統行事のアシチェノミ、市指定無形文化財の丘珠獅子舞保存伝承事業に対する支援	アイヌ民族の伝統行事であるアシチェノミの保存伝承事業に対し、補助金を交付した。市指定無形文化財丘珠獅子舞の保存伝承事業については、補助金の申請はあったが、新型コロナウイルスの影響により祭事が中止となったため交付はなかった。	市指定無形文化財丘珠獅子舞及びアイヌ民族の伝統行事アシチェノミの保存伝承事業に対する補助事業を実施する。	市)文化財課			照会元所管事業		
		文化財の防災・防犯対策	文化財防火デーに合わせて市所有の文化財施設で消防訓練を実施するとともに、所有者にも周知	文化財防火デーに合わせて市所有の文化財施設で消防訓練を実施するとともに、所有者にも周知	文化財防火デーに合わせて市所有の文化財施設で消防訓練を実施した。豊平区において民間に窓ガラス等を破損する物損事故が確認されたことを契機に、施設管理者と防犯体制について協議を行い、防犯体制及び防犯(警告)のための掲示物等を整備した。	引き続き、文化財防火デーに合わせて消防訓練を助行する。	市)文化財課			照会元所管事業		
Action3 伝える	災害発生時の対応	非常時の連絡体制を整備し、担当部署により迅速に文化財の被害状況を把握	非常時の連絡体制を整備し、担当部署により迅速に文化財の被害状況を把握	非常時の連絡体制を整備し、担当部署により迅速に文化財の被害状況を把握	非常時の連絡体制を整備し、担当部署により迅速に文化財の被害状況を把握	市)文化財課			照会元所管事業			
		非常時の連絡体制を整備し、担当部署により迅速に文化財の被害状況を把握	非常時の連絡体制を整備し、担当部署により迅速に文化財の被害状況を把握	非常時の連絡体制を整備し、担当部署により迅速に文化財の被害状況を把握	非常時の連絡体制を整備し、担当部署により迅速に文化財の被害状況を把握	非常時の連絡体制を整備し、担当部署により迅速に文化財の被害状況を把握	市)文化財課			照会元所管事業		

札幌市文化財保存活用地域計画に掲載している事業等

※ I列～M列：H30年の照会における各局（区）からの回答

基本方針	施策の方向性	事業・施策名称	事業・施策内容	令和2年度の取組実績	今後の予定等	主管課	(1) 関連計画・構想等	(2) 関連施策・事業	事業概要	事業等の背景・目的・課題など	ホームページURL	
保存・伝承 の課題に対する取組	景観計画推進	良好な景観の形成のため、景観法、札幌市景観条例及び景観計画に基づく施策の展開	【景観資源の指定・登録】 景観法に基づき「柳田家住宅旧りんご蔵」を景観重要建造物に指定したほか、札幌市景観条例に基づき「北条城札幌本館（旧北海道庁庁舎）」、「ISAPP・ROフューチャーペド」、「旧札幌家業社工場（開拓使渡船造所）」、「成田山札幌別院新築寺のチヨウ」の4件を活用促進景観資源に登録した。 【景観資源の保全・活用に対する助成（景観建築物等助成金）】 景観重要建造物や札幌景観資源に指定している建築物2件に対し、その保全・活用に資する工事の経費の一部を助成した。	引き続き、札幌の景観を特色づけている自然や建築物、工造物、生活習慣などの景観資源について、景観法に基づく景観重要建造物、樹木や札幌市景観条例に基づく札幌景観資源、活用促進景観資源への指定・登録を進めるとともに、景観資源の保全・活用に資する工事に係る経費の助成や普及啓発等を実施する。 また、景観法や札幌市景観条例に基づく届出・協議の機会を捉えて、景観資源の周辺で行われる建築行為が景観資源と協調したものとなるよう誘導する。	政）地域計画課	札幌市景観計画	景観計画推進事業	良好な景観の形成のため、景観法並びに景観条例及び景観計画に基づく施策の展開	景観資源の幅広い活用を図るため、文化財や観光振興等といった関分野と連携して活用を促進する	<a href="http://www.city.sapporo.jp/ku/kaku/kaikan/jyukens/jyukens.htm">http://www.city.sapporo.jp/ku/kaku/kaikan/jyukens/jyukens.htm</a>		
			アイヌ伝統文化振興	アイヌ民族の伝統的な生活様式や文化などの紹介や市民がアイヌ文化に身近に触れる機会の創出による、アイヌ伝統文化の保存、継承、振興	アイヌ文化交流センターにおける展示イベントの開催、アイヌ民芸品の展示販売会の実施やアイヌ文化ランド化推進、伝統的生活空間の再生事業（自然素材の育成、体験講座の開催）などを実施した。	引き続き、アイヌ民族の伝統文化の保存、継承、振興を進めるとともに、関連事業を実施していく。	市）アイヌ施策課	札幌市アイヌ施策推進計画	市民理解の促進 伝統文化の保存・継承・振興 生活関連施策の推進	都心部のアイヌ文化を発信する空間等において各種情報発信を行い、多くの市民・来訪者にアイヌ民族の歴史・文化に触れる機会を創出するとともに、札幌市アイヌ文化交流センターを中心に、インカルパベ、アイヌ民族文化祭、アイヌ文化体験講座、小中高生団体体験プログラム等各種取組により、アイヌ民族の伝統文化活動等を推進することで、広く市民とアイヌ民族との交流機会を設け市民理解の促進を行い、アイヌ民族自らが新しい世代に文化伝承を行うなど、伝統文化を保存・継承・振興等を行うもの。	政府の土地政策や同化政策等により苦難の歴史を歩んできたアイヌ民族の誇りが尊重されるまちの実現に向けて、各種施策を展開し、アイヌ民族の歴史やアイヌ民族のアイデンティティの深である言語・伝統文化に対する市民理解を促進するとともに、伝統文化の保存・継承・振興等を行い、共生社会の実現を図る必要がある。	(アイヌ施策の推進)： <a href="http://www.city.sapporo.jp/shimin/ainushuaka/index.html">http://www.city.sapporo.jp/shimin/ainushuaka/index.html</a>
Action4 生かす 活用の課題に対する取組	「関連文化財とストーリー」の活用モデルづくり	歴史文化のストーリーと、文化財のつながりを活かした多様な新たな活用モデルを見いだす。市民や旅行業者等を対象に、今後設定する関連文化財群等をコンテンツとしたモニターツアーを実施し、課題の分析、将来的な収益事業化の検討等を行う	協議会が設定した関連文化財群及びストーリーである「大友組」「開拓使」に関連する文化財等を訪れるモニターツアーを設定した。	令和3年度においても、モニターツアーを実施し、商品化に向けた検証を進めていく。	市）文化財課	札幌市歴史文化のまちづくり推進協議会	札幌市の文化財や歴史文化を観光資源として磨き上げ、さらなる活用機会を創出するため、協議会が設定する関連文化財群等をコンテンツに用いたまち歩きなど、来札幌観光客が気軽に楽しめるツアーを企画、実施する。	文化財を保存しただけでなく、観光資源としても活用して市民だけでなく来札幌観光客にとっても魅力的となるようまちづくりを進めていく。				
			サイン、解説等の整備（多言語化）	関連文化財群とストーリーを生かした文化財の周遊促進のための案内向けパンフレットを作成し、順次多言語化してインバウンドにも対応する	令和3年度においては、2テーマでのさっぽろ文化財散歩の制作を予定しているほか、令和2年度のテーマで子ども向けパンフレットを新たに制作する 多言語化については、順次検討していく。	市）文化財課	札幌市歴史文化のまちづくり推進協議会	来札幌観光客が気軽に手に取って、札幌市内を周遊できるように内容を製作する。 また、子ども（小学4～6年生をメインターゲット）向けのパンフレットを製作する。	来札幌観光客が気軽に手に取って、札幌市内を周遊できるように、観光資源としての活用を目指す。			
			ボランティアガイド育成支援	札幌商工会議所の観光ボランティア、その他市内文化財施設等で活動する市民等ボランティアのスキルアップ支援等	令和3年においては、前年度のモニターツアーに対する旅行・観光関係者意見交換会の結果から、コミュニケーション力アップにつながる講座を実施する。また、ボランティアガイドの知識技能向上面での支援及び新たな関わりなどの充実を図った。	令和3年においては、前年度のモニターツアーに対する旅行・観光関係者意見交換会の結果から、コミュニケーション力アップにつながる講座を実施する。また、ボランティアガイドの知識技能向上面での支援及び新たな関わりなどの充実を図った。	市）文化財課	照会元所管事業				
			アイヌ文化交流センターリフレッシュ事業	老朽化したアイヌ文化交流センターの屋内外展示物等の計画的修繕・更新等	アイヌ文化交流センターにおいて、ライトコート（中庭）改修基本計画の策定、wi-fi設置、展示物説明の多言語化、音声訳機機の導入などを実施した。 -withコロナ時代の新たな観光コンテンツとして、観光ガイドアプリの開発を行った企業に対し、さっぽろ観光魅力創出事業補助金を交付した。 -日本前三大夜更都市である札幌市を含む認定3都市の共同プロモーション等を実施	ライトコート（中庭）のリニューアル、文化体験コーナーの設置、展示物の充実、展示案内の多言語化など、計画的に修繕や更新等を行っていく。 -さっぽろ観光魅力創出事業の継続をはじめとして、引き続き、アプターコーンを活用した観光資源の発掘や磨き上げを実施していく。 -日本前三大夜更都市である札幌市を含む認定3都市の共同プロモーション等を実施	市）アイヌ施策課	札幌市アイヌ施策推進計画	観光資源発掘・魅力創出事業	多様な切り口で新しい観光資源を創出し、札幌観光の新しい魅力づくりを図る。（夜更観光、食、ツーリズム、北海道や札幌の歴史や文化の体感等）	国内外問わず個人旅行客が進んでいることから、定番観光だけでなく、多様なニーズに応えられる札幌ならではの、観光資源の発掘や魅力向上が必要であることから事業を実施。	
			観光資源発掘・魅力創出事業	多様な観光資源の創出による、札幌観光の新たな魅力づくり（夜間観光、食、ツーリズム、北海道や札幌の歴史文化の体験等）	観光客の滞在の動きや消費行動のデータを収集・加工・分析することにより、観光客の動態を的確に把握し、官民協働で活用できる環境づくりを推進	観光客の滞在の動きや消費行動のデータを収集・加工・分析することにより、観光客の動態を的確に把握し、官民協働で活用できる環境づくりを推進	市）観光・MICE連携課	札幌市観光・MICE連携課	観光資源発掘・魅力創出事業	観光客の人流データ、観光施設・文化施設等の入込データ、商業施設等の購買データ等を収集・加工・分析することにより、観光客の動態を的確に把握し、活用できる環境づくりを進める。併せて、データを活用した周遊促進、消費拡大策を実施することにより、地域経済活動の活性化を図る。	ICTを活用したデータの収集により、従来の調査手法では把握が難しい精緻な観光動態を把握し、収集した行政データと民間事業者データを掛け合わせた分析を実施することによって、観光ニーズを捉えた効果的な観光マーケティングを実現し、観光客の周遊促進と消費拡大、滞在の満足度向上に伴う再訪意欲の喚起を促すことを目的とする。	
			ICTを活用した観光マーケティング推進事業	観光客の滞在の動きや消費行動のデータを収集・加工・分析することにより、観光客の動態を的確に把握し、官民協働で活用できる環境づくりを推進	観光客の滞在の動きや消費行動のデータを収集・加工・分析することにより、観光客の動態を的確に把握し、官民協働で活用できる環境づくりを推進	観光客の滞在の動きや消費行動のデータを収集・加工・分析することにより、観光客の動態を的確に把握し、官民協働で活用できる環境づくりを推進	市）文化財課	札幌市ICT活用戦略	ICTを活用した観光マーケティング推進事業	観光客の人流データ、観光施設・文化施設等の入込データ、商業施設等の購買データ等を収集・加工・分析することにより、観光客の動態を的確に把握し、活用できる環境づくりを進める。併せて、データを活用した周遊促進、消費拡大策を実施することにより、地域経済活動の活性化を図る。		
Action4 生かす 活用の課題に対する取組	指定管理者による文化財施設の管理・運営	一部の文化財施設を指定管理者が管理・運営することにより、柔軟な活用や運営を推進	令和2年度は新型コロナウイルス感染症もあり、イベントや企画が難しかった中で、以下のような特徴的な取組があった。 令和2年11月には、豊平館指定管理者が自主事業により、コロナ禍で打撃を受けた文化芸術活動を支援する文化庁の補助事業「ジャパンライヴエール」共催事業として、豊平館を舞台にライブパフォーマンスの撮影及び動画配信を行い、コロナ禍後の文化芸術と連携型観光推進する取組を行った。	引き続き、施設を適切に維持管理していくほか、コロナ禍を踏まえた柔軟な運営を実施していく。	市）文化財課	照会元所管事業						
			郷土資料館支援の手法検討	郷土資料館の来館者を増やし、将来的に手確保につながる手法を検討	札幌市内郷土資料館の認知度やニーズおよび今後の在り方を把握するための市民向けアンケート調査を実施した。	札幌市内郷土資料館が抱えている課題について、解消に資する効果的な施策を調査検討するとともに、将来的に札幌市が取り組むべき方を整理する。	市）文化財課	照会元所管事業				
			体験学習施設「丘林縄文遺跡」の管理・運営	遺跡を活用した施設での火おこし、土器づくりなどの体験や、土器、石器等の展示、ボランティア養成等	ボランティアと協働で体験メニュー「火おこし体験」を実施。体験学習として「縄文づくり」を開催。遺跡の発掘調査を実施し、「縄文公子」を開催。 （仮称）札幌博覧館における仮開館時の活用可能性について、他都市や類似館の基礎調査を行い、今後の本格的な調査に向けた条件等の整理を進めるとともに、立体地形模型のプロジェクションマッピングを製作し、常設及び出展展示コンテンツの充実を図った。 また、博物館活動の基盤である調査・研究、資料の収集・保存事業を差支えに推した。	ボランティアと協働で体験メニュー「火おこし体験」を実施。体験学習として「縄文づくり」を開催。遺跡の発掘調査を実施し、「縄文公子」を開催。 博物館運営における学芸員雇用方法や資料収集については、他都市事例調査を実施する。 また、新型コロナウイルスの影響で令和2年度に実施できなかったPPP/PFI開募検討を行う予定。 クワリ石の3Dデータを基にレプリカ構本を製作するとともに、国内・海外でのクワリ石の構本比較調査を実施する。 また、博物館活動の基盤事業である調査・研究、資料の収集・保存を継続して進めていく。 なお、普及交流事業は、コロナの状況に応じて開催手法を工夫して実施予定。	市）文化財課	照会元所管事業				
			博物館活動推進	自然系総合博物館の計画推進のため、石狩低地帯を活動域に、人材、実務資料、情報を蓄積し成長・発展する活動を展開	新型コロナウイルスの影響により、普及交流イベントが大幅に縮小し、来館者数は2,816人となったが、自宅でも自然史への興味・関心を高める新しいコンテンツとして、札幌市HPに「おうちミュージアム」を作成し、身近な自然や、その楽しみ方について紹介した。 小金湯産クワリ石の構本比較調査について、新型コロナウイルスの影響により国内・海外調査は令和3年度に延期	引き続き、施設を適切に維持管理していくほか、コロナ禍を踏まえた柔軟な運営を実施していく。	市）文化財課	照会元所管事業				
市民に多様な学習機会を提供	生涯学習施設センター「ちえあひ」を拠点に、市民の多様な学習ニーズに対応する学習機会を提供	生涯学習施設センター「ちえあひ」を拠点に、市民の多様な学習ニーズに対応する学習機会を提供	新型コロナウイルス感染症の影響により、講座数が大幅に減少となり、「回あたりの変換者数も期前しなから実施した」。	令和3年度においても、すでに新型コロナウイルス感染症の影響による講座の中止・延期が発生している。引き続き、感染状況を注視しながら可能な範囲で実施していく。	教）生涯学習推進課							
			■講座数：107講座（R1：281講座） ■受講者数：1,238名（R1：4,755名）									

札幌市文化財保存活用地域計画に掲載している事業等

※ I列～M列：H30年の照会における各局（区）からの回答

基本方針	施策の方向性	事業・施策名称	事業・施策内容	令和2年度の取組実績	今後の予定等	主管課	(1) 関連計画・構想等	(2) 関連施策・事業	事業概要	事業等の背景・目的・課題など	ホームページURL
		パシフィック・ミュージアム・フェスティバル（PMF）の開催	北海道の夏の風物詩であり、豊かな風土に根差した世界へ発信する文化事業として北海道通産に選定された、札幌コンサートホール（Aitana）や札幌芸術の森、文化財施設等で催される、世界各国から選抜された若手音楽家による演奏会の開催	新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、海外からの入国制限措置が強化されるとともに、来場者の安全・安心を確保することが困難と判断し、2020年7月10日（金）から8月3日（月）までの会期で予定していたPMF 2020の開催を中止した。 PMF 2021開催準備事業として、オンラインイベント「PMF Connects ～2020 Summer Festival～」をはじめ、市民が身近にクラシック音楽に触れることができる機会を提供し、クラシック音楽の普及を図った。	【PMF2021】 2021年7月23日（金）～8月1日（日） ※令和4年度以降も夏頃にPMFを開催予定	市）文化振興課			照会元所管事業		
	Action5 つながる 連携・協働 の課題に対する取組み	保存・活用に関する課題解決支援	協議会によるネットワークを活用し、民間等による文化財の保存・活用の課題解決につなげる相談会の創出	協議会の活動等を通じて、文化財の保存・活用を支援する活動を行う団体との意見交換を実施。	協議会のネットワークを生かした課題解決支援の手法について引き続き検討を行う。	市）文化財課			照会元所管事業		
関係者と経済観光団体等の交流機会創出		協議会によるネットワークを活用した関係者の交流を促進し、文化財の保存・活用に関する新たなアイデアの発見や手法の確立につなげる	協議会開催による市民ワークショップやシンポジウムにおいて、文化財の保存・活用団体や観光団体等の参加と協力を得ることにより、連携・協働体制の強化につなげた。	引き続き、協議会の活動等を中心に、関係団体のネットワーク強化につなげる取組を行う。	市）文化財課			照会元所管事業			
札幌市歴史文化のまちづくり推進協議会の運営		有識者・経済観光団体・文化財に関する活動を行う団体等で構成する協議会により、文化財の保存・活用に連携・協働して取組む体制整備を推進	適宜協議会を開催し、会員や有識者の意見を踏まえながら関連文化財及びストーリーを設定するなど協議会の運営を行った。 また、令和2年8月よりふるさと納税の寄附を開始し、令和2年度の寄附額は21,873千円であった。	引き続き協議会活動を維持していくとともに、ふるさと納税の寄附金について、文化財の保存・活用に関連する促進を検討していく。	市）文化財課			照会元所管事業			
重要文化財 北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）保存活用計画との連携		赤れんが庁舎の歴史的価値を保存し、未永く後世に伝えていくとともに、市民の貴重な財産として今後もより一層有効に活用していくための計画の推進	令和3年2月に協議会が開催したシンポジウム「さっばるれきふんフェス」会場において、保存活用計画に関する取組を紹介するパネル展示を行い、来場者への周知を図った。	引き続き、協議会の活動等を中心に、広報その他の取組による連携を検討する。	北海道			※行外は別途照会予定			
北海道大学 キャンパスマスタープラン2018との連携		札幌キャンパス南ゾーンの登録有形文化財建造物群等（古河講堂、旧農学部図書館、旧昆虫学教室等）の歴史・文化的価値を再評価し、民間資金等の多様な財源を活用して地域の知的拠点となる空間への転用を図る『キャンパスミュージアム計画』との連携	令和3年2月に協議会が開催したシンポジウム「さっばるれきふんフェス」会場において、キャンパスマスタープランに関する取組を紹介するパネル展示を行い、来場者への周知を図った。	引き続き、協議会の活動等を中心に、広報その他の取組による連携を検討する。	北海道大学			※行外は別途照会予定			